



陽光

校報 第234号
男鹿市立北陽小学校
令和5年9月25日発行

〇〇の秋に向かって

校長 小澤 進

長く暑かった夏もようやく終わりを告げようとしています。

「勉強の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」など、〇〇には、たくさんの言葉が当てはまります。暑すぎず、寒すぎず、過ごしやすいこの時期に、子どもたちには、勉強に、スポーツに、興味をもって取り組んでほしいと思います。

7月21日に発行した「陽光 第232号」でもお知らせしたとおり、本校では、4人のボランティアによる読み聞かせを年間を通して実施し、子どもの読書活動の充実につなげています。

各学年の国語の教科書には、「本は友だち」など、読書に親しむ単元が取り上げられています。次の作文は、3年生の嶋宮海翔さんが、「バナナのはなし」という本を読んで、国語の時間に書いたものです。海翔さんの作文を読んで、私自身、思わず納得させられました。読書には、語彙力、文章力が養われる、教養や知識が身に付く、想像力が豊かになる…など、たくさんの効果があります。

ぼくは、題名の「バナナのはなし」が気に入った。この本は、バナナの育て方や色のひみつなどが書かれていて、みんさんがバナナの白いすじに、どんなはたらきがあるか知ってみたい。えいよく実際に運ぶのが、白くて長いすじなのだと、ぼくはいつも食べるとき、バナナを食むじがまだ思っている。バナナはバナナのことを知りたい人は、ぜひこの本を読んでください。



統合計画について

9月10日（日）に、男鹿市教育委員会が、統合計画について、保護者、地域の方に向けて、説明会を実施しました。

令和2年12月に、男鹿市教育委員会は、男鹿市立小・中学校再編整備計画を策定しました。当時の計画では、北陽小学校と船川第一小学校の統合が、令和7年4月以降とされていました。しかし、当時の計画よりも北陽小学校の児童数の減少が進み、令和7年には全校児童数が16人となります。そこで、子どもたちの望ましい教育環境を整備するため、令和7年4月に統合することで、計画を進めることになりました。

学校としては、今後も、何よりも子どもたちのよりよい成長のため、可能なことに取り組んでいきます。

第31回男鹿市小・中学校すもう大会

9月9日（日）に男鹿市総合体育館を会場に、4年ぶりに開催されました。北陽小学校からは、1年生2名、5年生1名が出場しました。小さな体で大きな相手に向かっていく、その頑張りには思わず拍手でした。裏面にもその様子を掲載しています。

- 団体 第3位 北陽小学校
- 個人 5年生の部 優勝 薄田 瑛杜さん
- 個人 1・2年生の部 第3位 石川 誇都さん

